

## 「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」第2回幹事会の概要について

日	時	平成18年8月10日(木) 14:00~16:20
場	所	京都市勧業館 地下1階 大会議室
議	題	1 第1回幹事会での主な意見と確認事項 2 歴史的都心地区の交通の現状 3 交通社会実験内容(案) 4 交通実態調査・アンケート調査(案) 5 その他 ・「都心部における放置自転車等実態調査結果」(休日調査結果7/30(日)) について(建設局放置車両対策課) ・歩車分離式信号(スクランブル方式及び歩行者専用現示方式等の歩車分離制御の方式)について(京都府警本部交通規制課)

### 1 主な意見

- ・四条繁栄会としては先般提出させていただいた要望書にも示したように、烏丸通から川端通間でのトランジットモール化を望んでいる。
- ・タクシーが多い。ベイを設置しない案も考えられるのではないか。
- ・四条通には、バスが多すぎる。トランジットモールの実験時にあわせて、市バスの運行本数減、改編を本気で取り組む意欲はあるのか。
- ・四条通、三条通の取組と併せて、河原町通など南北の通りと一体的に取り組む必要がある。
- ・四条通と河原町通については、歩道幅員の拡大と併せて、一方通行化ができないか。
- ・将来的な道路整備の事業費の負担について、全額を市で負担するべきである。
- ・実態調査として、駐車場の出入りと荷物の搬出入は重要な点であるため、調査を行って欲しい。本年1月の調査では、細街路について1断面の交通量だけしか調査されなかった。細街路内を走る自動車の経路や交通量分布についても、把握することが望ましい。

### 2 確認された内容

- (1) 四条通の実験内容として、トランジットモール化を目指し、検討事項の精査を行っていく。

実験期間は1~2週間程度として平日・休日両方実施するイメージで検討を行う。

四条通りや河原町通の一方通行化については、提案として残すが、議論に時間がかかることから、実験に向けては、トランジットモール化を検討する。

- (2) 三条通の実験内容としては、可能であれば歩行者自転車専用道路化を目指す。

実験期間は1~2週間程度として、四条通と一体的に取り組む。

上記(1)及び(2)の検討に当たっては、今秋に行う(3)の調査結果を参考として、細部を詰めていくこととする。

- (3) 交通実態調査及びアンケート調査については、9~10月に実施する。

- (4) 次回は、9月12日(火)に第2回の協議会を行い、幹事会における検討状況の報告及び今秋に実施する交通実態調査及びアンケート調査の内容を諮る。